

大丸産業への
「OKBポジティブインパクトファイナンス」の実行



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、大丸産業株式会社（代表取締役社長 水口 泰之）へ「OKBポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」）」を下記の通り実行しました。

PIFは、お客さまの事業活動が経済・社会・環境に与える影響を分析・評価し、特定されたポジティブなインパクト（プラスの影響）の向上とネガティブなインパクト（マイナスの影響）の緩和・低減に向けた、お客さまの取り組みをサポートする融資商品です。

OKB大垣共立銀行はこれからも、社会や環境課題の解決に資する取り組みを一層推進し、地域循環型社会の担い手として、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

記

■本件融資の概要

企 業 名	大丸産業株式会社
融 資 実 行 日	2025年3月31日（月）
そ の 他	・ 評価書 https://www.okb.co.jp/assets/pdf/archive/2025/daimaru-ind20250331.pdf ・ 株式会社格付投資情報センター（R&I）によるセカンドオピニオン https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html

■大丸産業株式会社の概要

代 表 者	代表取締役社長 水口 泰之
所 在 地	愛知県名古屋市中山区向台1丁目408
業 種	卸売業
ホームページ	https://daimaru-ind.co.jp/

<企業のコメント>

当社は、コンビナート、プラントにおける製造設備の資機材を取り扱う専門商社です。主に鋼管、バルブ、ポンプなど工場の稼働に必要な製品を取り扱っています。

昨今は水素やアンモニアなどの新エネルギー設備にも対応できるようユーザーさまと打ち合せを重ね、メーカーさまと共に新製品への取り組みもしています。次世代のエネルギー産業、プラント設備に価値ある製品、サービスをお届けできるよう今後も社員全員で努力を重ねていきます。

以 上

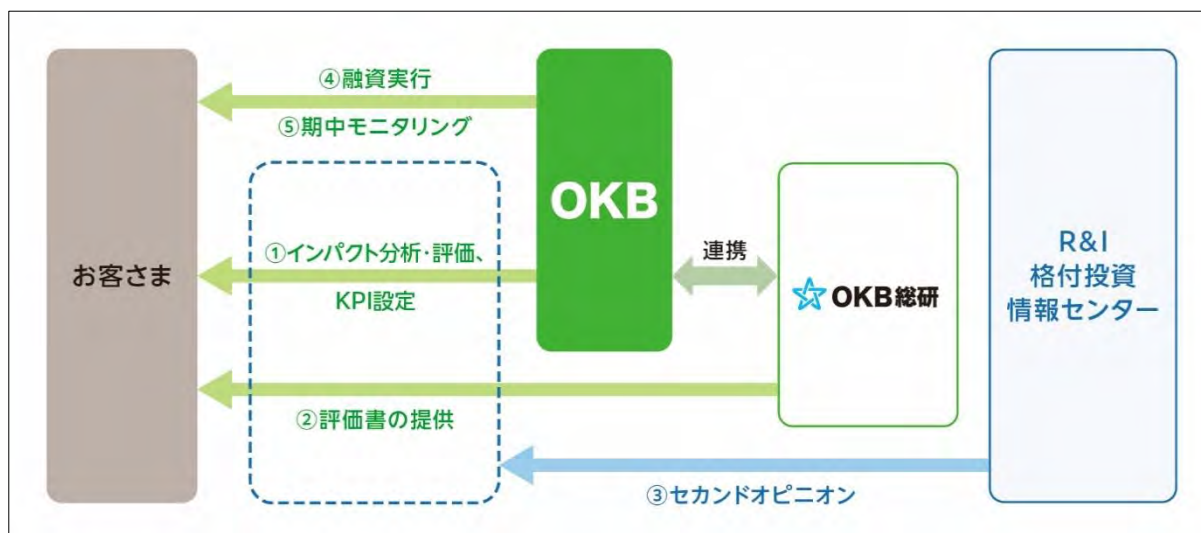
■OKBポジティブインパクトファイナンスの商品概要

お客さまの事業活動が経済・社会・環境に与える影響を分析・評価し、特定されたポジティブなインパクト（プラスの影響）の向上とネガティブなインパクト（マイナスの影響）の緩和・低減に向けた、お客さまの取り組みをサポートする融資商品

ご利用いただける方	法人のお客さま
資金使途	運転資金・設備資金
融資金額	50百万円以上
融資形式	証書貸付
融資金利	OKB大垣共立銀行所定の変動金利または固定金利
手数料	OKB大垣共立銀行所定の手数料

・本商品のご利用にあたっては、OKB大垣共立銀行所定の審査があります

【スキーム】



- ① OKB大垣共立銀行とグループ会社の株式会社OKB総研が、お客さまの事業活動が経済・社会・環境に与える影響（インパクト）を分析・評価し、インパクト結果に基づくKPI（指標）を設定します
- ② OKB総研がインパクト分析・評価結果を「評価書」として提供します
- ③ 評価内容について、国際原則への適合性を確認するため、株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」）からセカンドオピニオンを取得していただきます（費用はお客さまのご負担となります）
- ④⑤融資を実行し、設定したKPIについて、OKB大垣共立銀行が定期的にモニタリングを実施します

本スキームは、R&Iから、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEPFI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則に適合していることについてセカンドオピニオンを取得しています。

【OKBの適合性に関するオピニオン】

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/01/news_release_suf_20230119_jpn.pdf